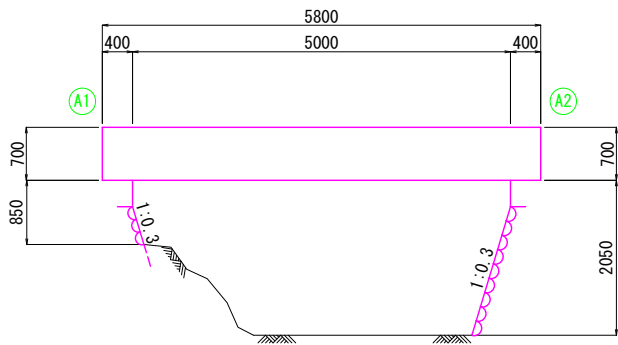
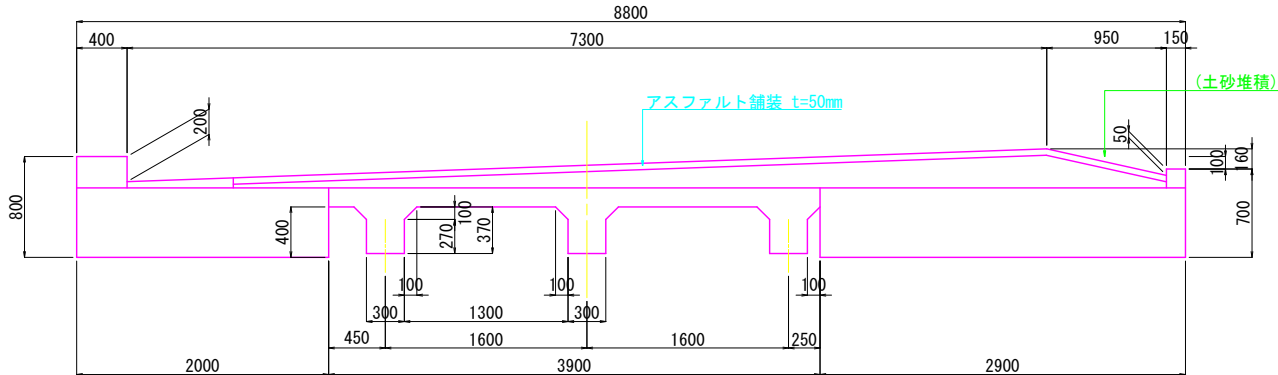


青木屋3号橋 一般図 S=1:50

側面図

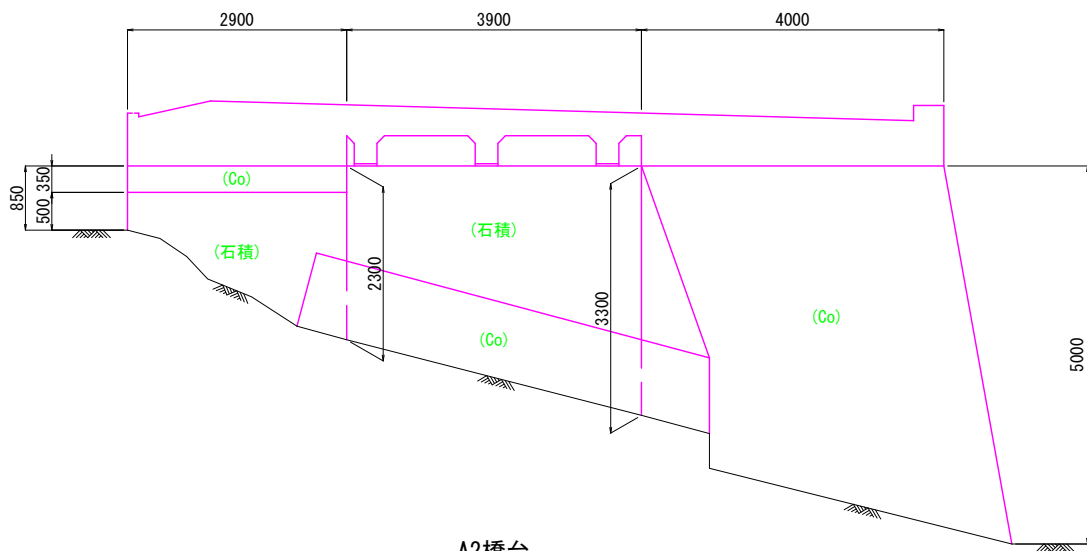


上部工断面図 S=1:30

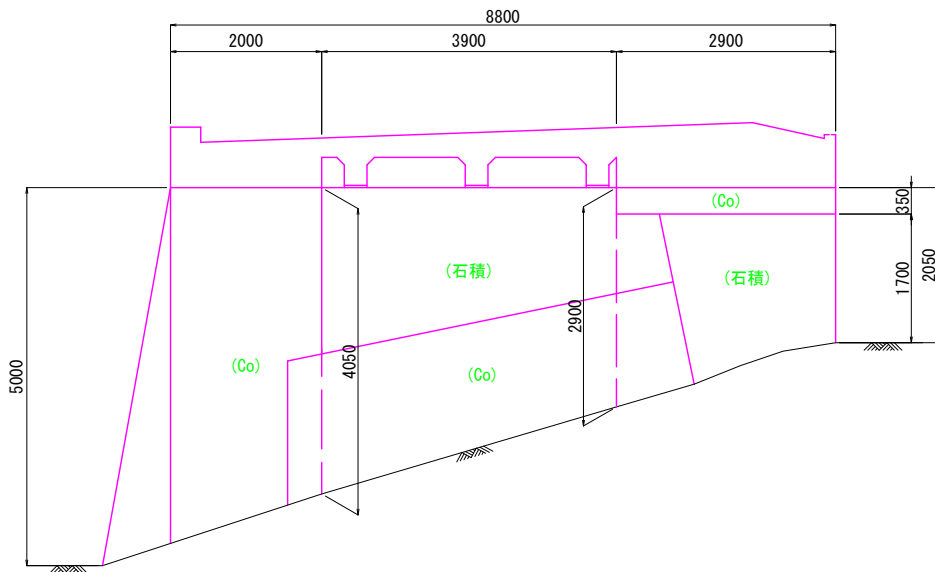


下部工断面図

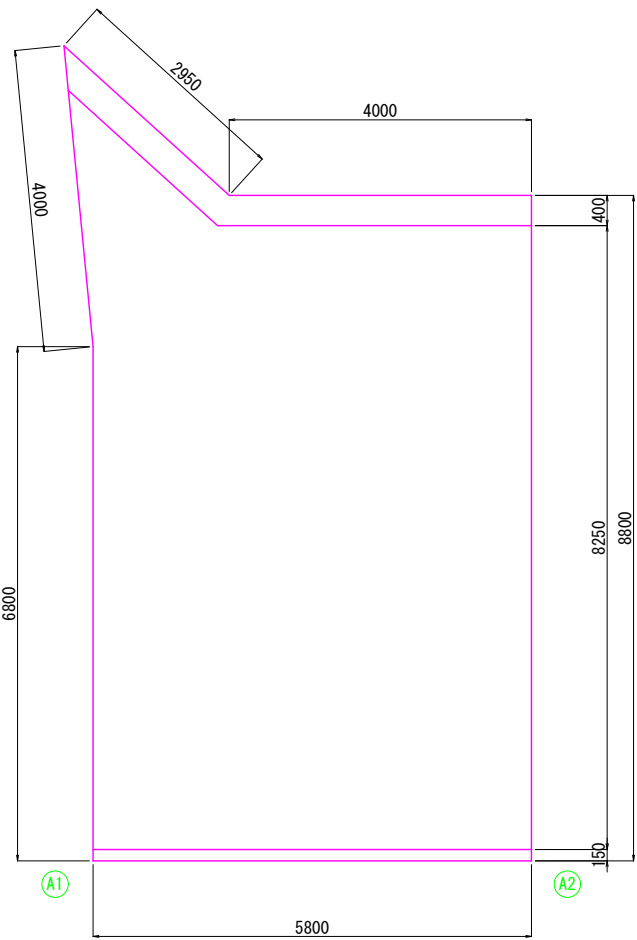
A1橋台



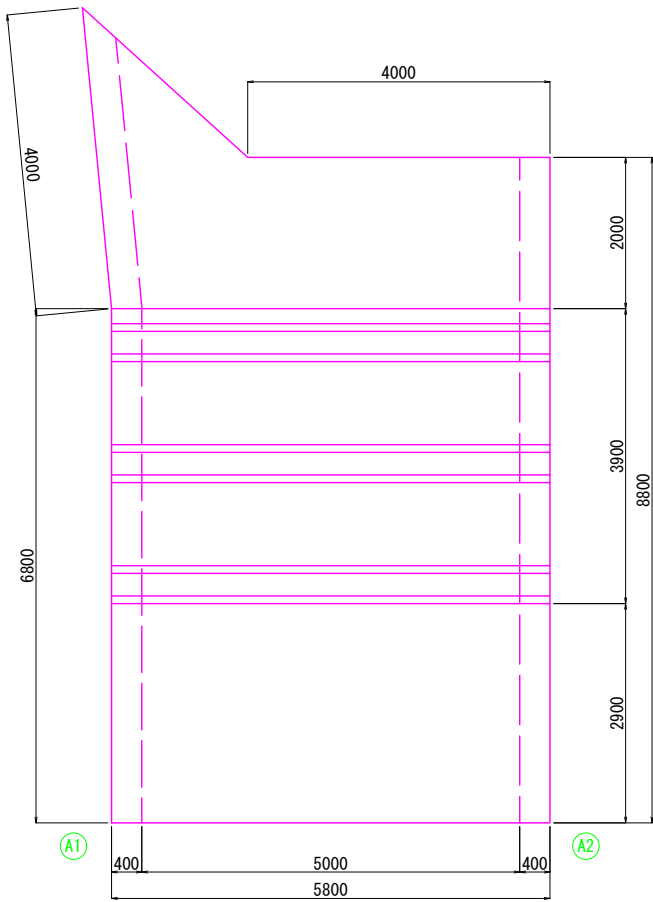
A2橋台



平面図(橋面)



平面図(桁下)



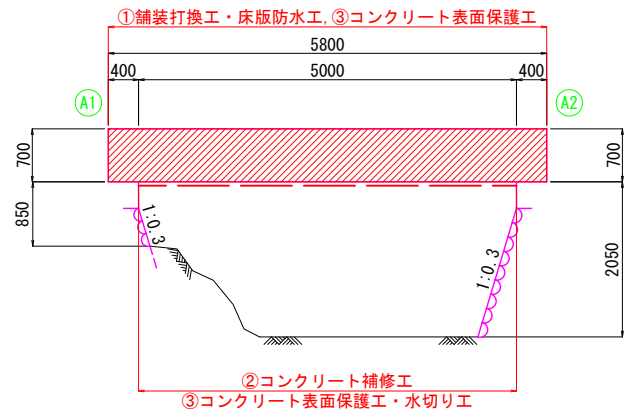
- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【青木屋3号橋】

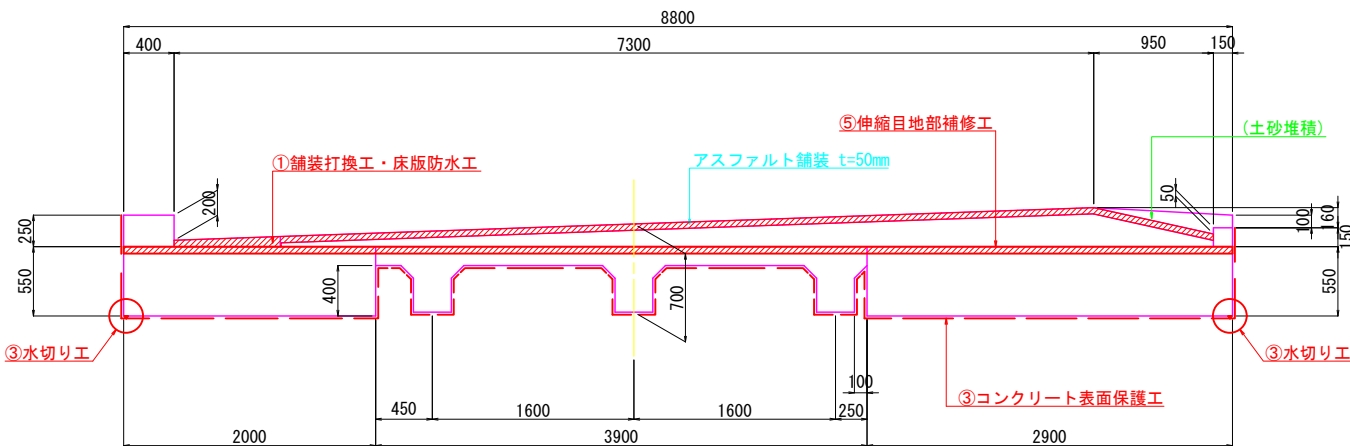
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	青木屋3号橋 一般図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	000 / 000
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

青木屋3号橋 補修工一般図 S=1:50

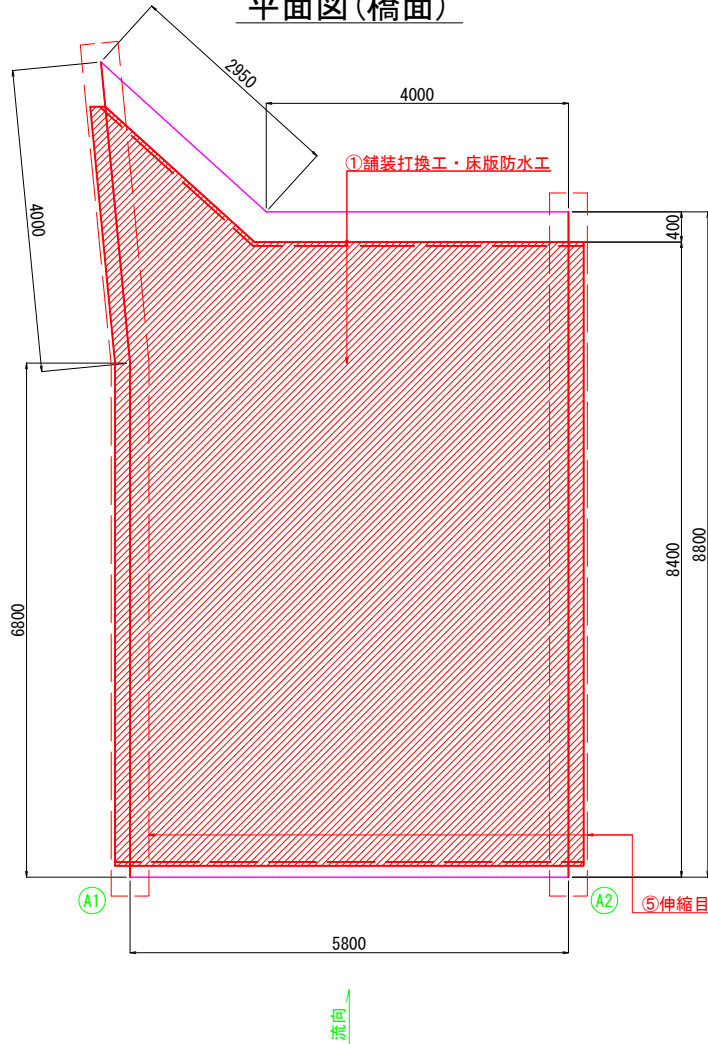
側面図



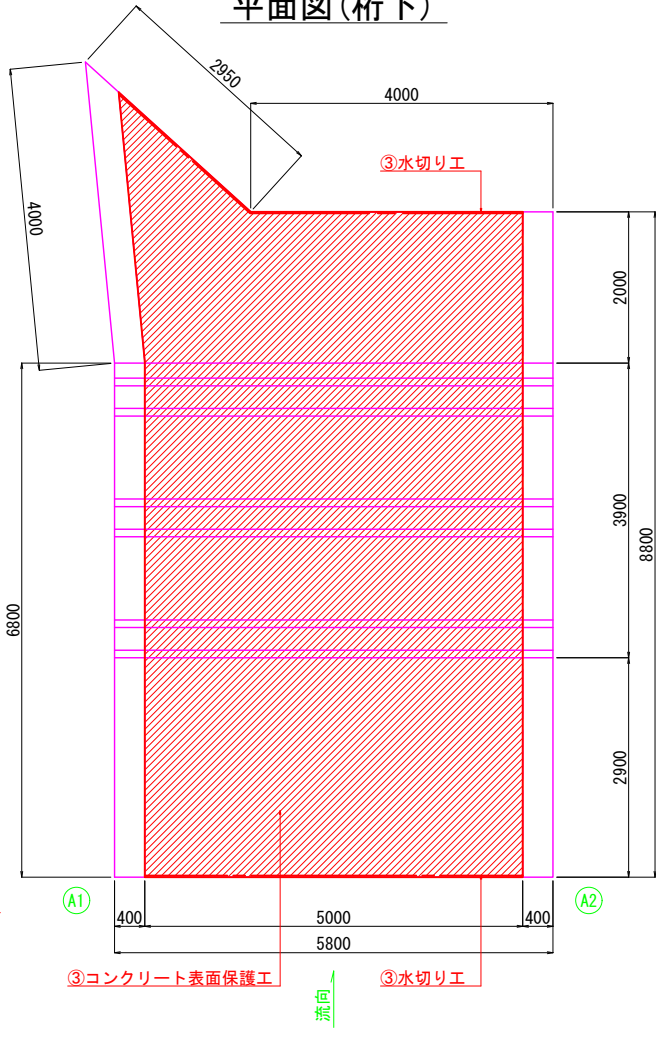
上部工断面図 S=1:30



平面図(橋面)

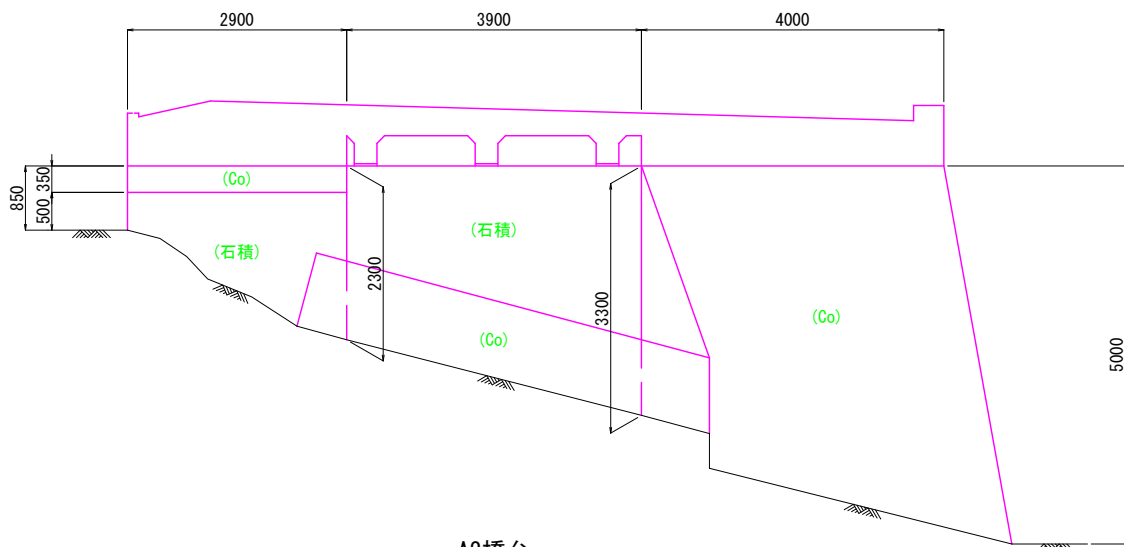


平面図(桁下)

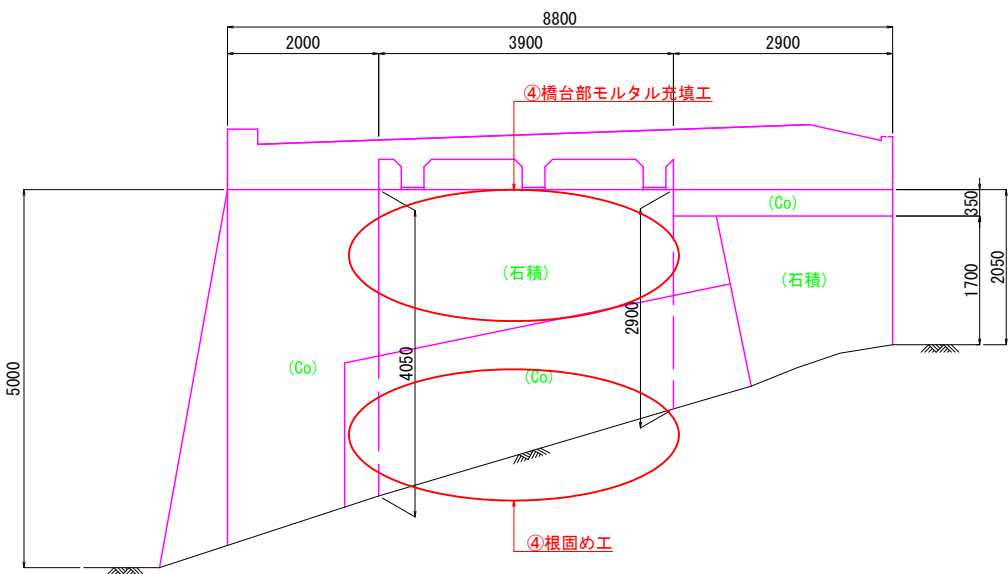


下部工断面図

A1橋台



A2橋台



対策工一覧【青木屋3号橋】

- ①舗装打換工・床版防水工
・床版下面に遊離石灰が見られるため、長寿命化対策として床版防水工+As舗装打換工
・床版下面に縦目地からの漏水が見られるため、長寿命化対策として縦目地にシール工
- ②コンクリート補修工
・剥離・鉄筋露出、うき部に対し断面復工(上部工)
- ③コンクリート表面保護工・水切り工
・主桁下面及び側面に対し、Co中性化進行抑制、鉄筋の腐食進行抑制対策として、表面含浸工(鉄筋腐食抑制型)
・地覆からの伝い水遮断対策として、水切り工
- ④橋台部モルタル充填工・根固め工
・A2橋台石積み(空積み)の一部に隙間が見られることから、裏込め土流出防止対策としてモルタル充填工
・A2橋台基礎部に洗堀が見られることから、モルタル充填による根固め工
- ⑤伸縮目地部補修工
・全支点において桁下への漏水が見られるため、伸縮目地部への止水材設置工

橋梁諸元

項目	内 容
橋梁名	青木屋3号橋
路線名	町道 平井田川瀬線
橋 種	単純RC床版橋+RCT桁橋H形鋼橋
活荷重	不明
竣工年	昭和58年(1983年)
交差物件	沢(管理者: 神石高原町)

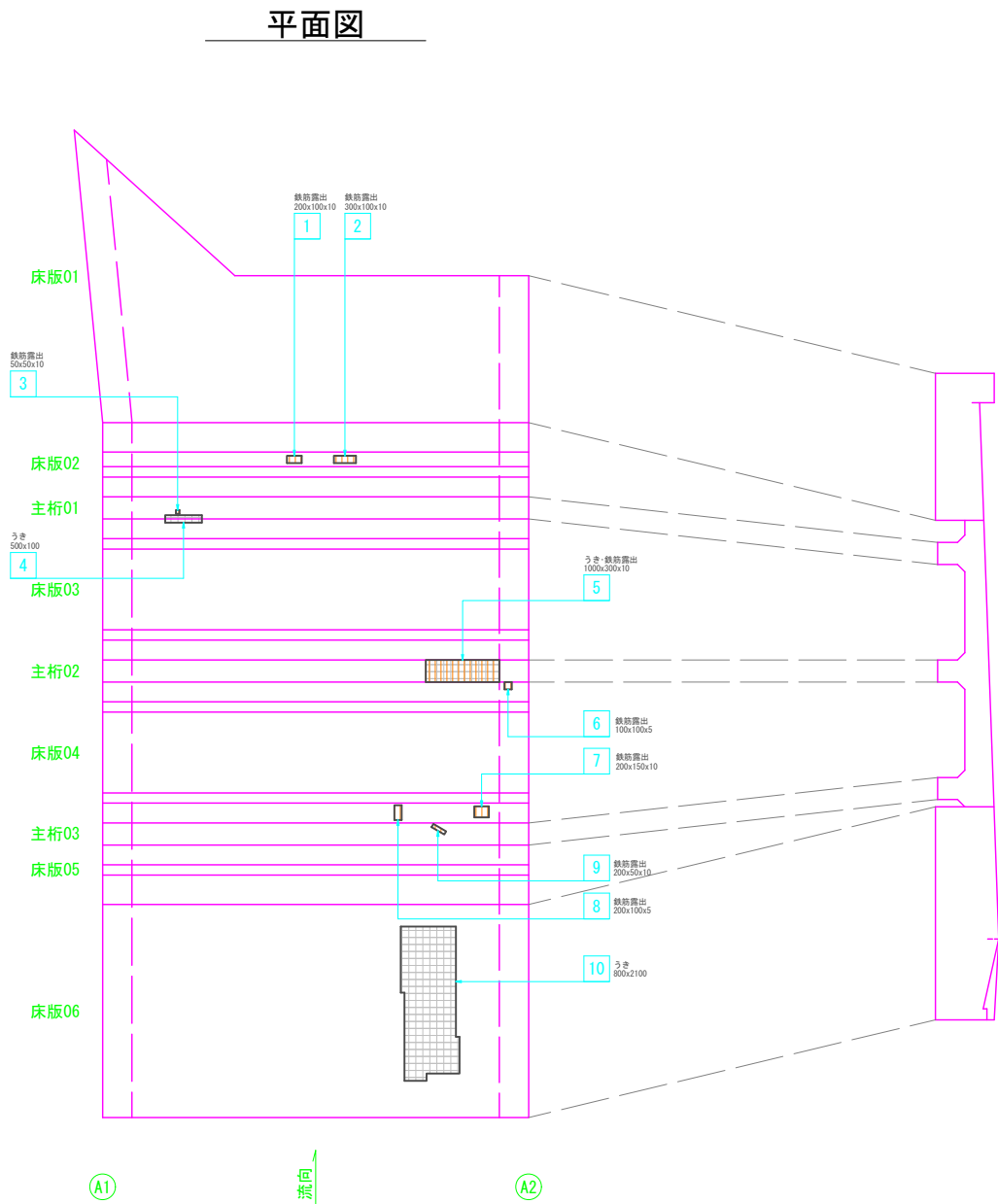
注記

- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
- 補修部材は、実測確認後に製作すること。
- その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
- 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
- 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【青木屋3号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	青木屋3号橋 補修工一般図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	2 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

コンクリート補修工図 S=1:50

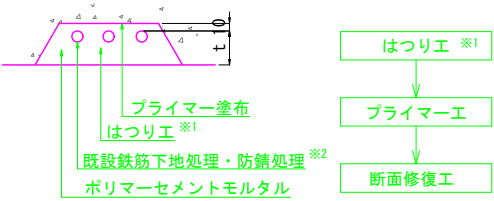


断面修復工数量:桁下面

部位	番号	断面修復工		箇所数	備考
		幅 (m)	長さ (m)		
床版	1	0.20	0.10	1	鉄筋露出
	2	0.30	0.10	1	鉄筋露出
主桁	3	0.05	0.05	1	鉄筋露出
	4	0.50	0.10	1	うき
	5	1.00	0.30	1	うき・鉄筋露出
	6	0.10	0.10	1	鉄筋露出
	7	0.20	0.15	1	鉄筋露出
	8	0.20	0.10	1	鉄筋露出
	9	0.20	0.05	1	鉄筋露出
	10	0.80	2.10	1	うき

コンクリート補修要領

＜断面修復工＞



※1：はつり箇所の端部は、10mm程度のカッター目地を入れ、フェザーエッジを回避すること。
※2：はつり時鉄筋が露出した場合には防錆処理を行うこと。
※3：断面復旧時、既設鉄筋からの純かぶり20mmを確保すること。

凡例(単位=mm)

損傷の種類	表示
遊離石灰を伴うひびわれ	
鉄筋露出	
欠損	
うき	
剥離	

凡例(ひびわれ)

幅	表示
0.2≦W<0.3	
0.3≦W<0.4	
0.4≦W<0.5	
0.5≦W<1.0	
1.0≦W	

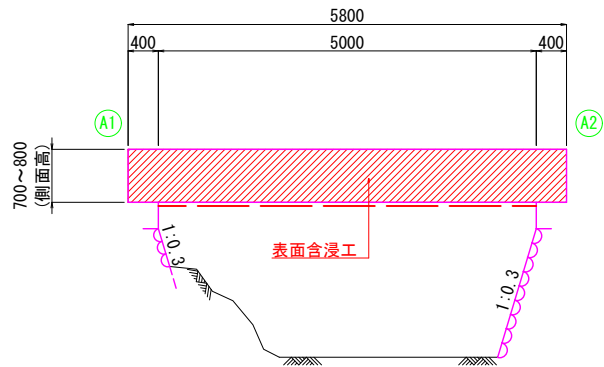
- 注記
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 - 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 - その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 - 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 - 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【青木屋3号橋】

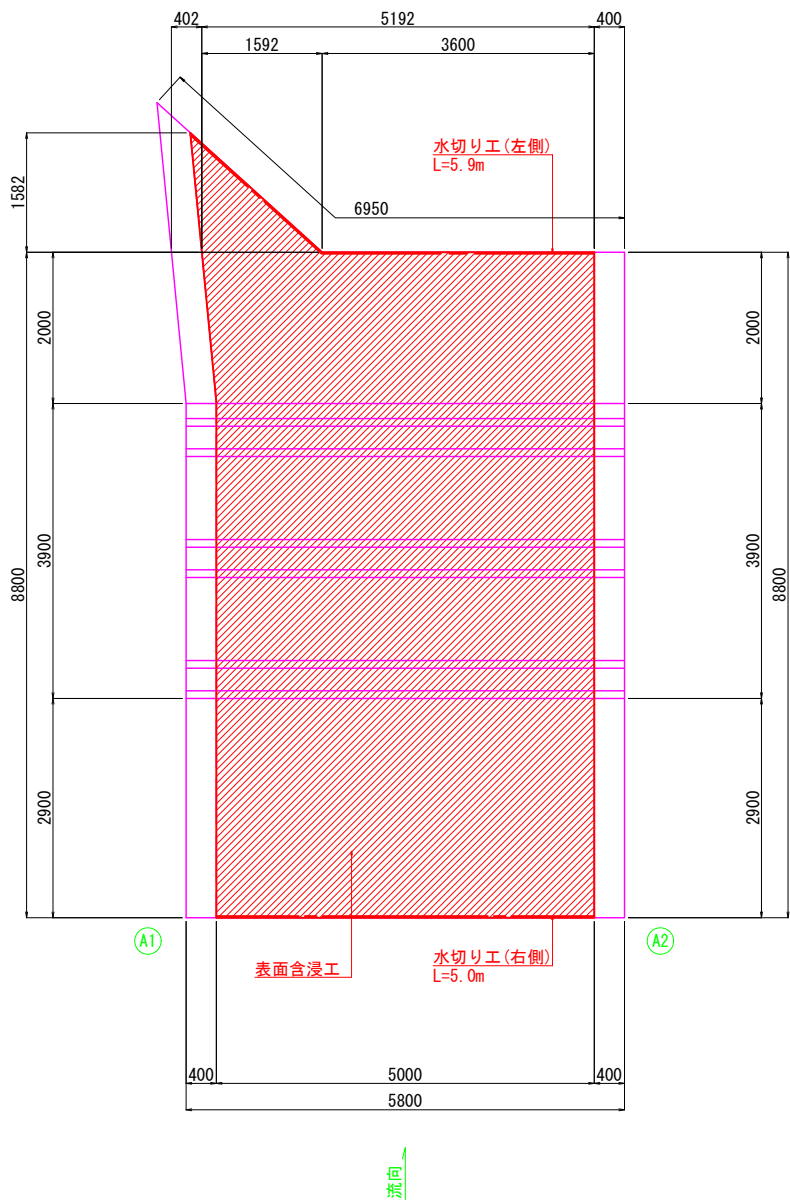
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	コンクリート補修工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	4 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

コンクリート表面保護工・水切り工図 S=1:50

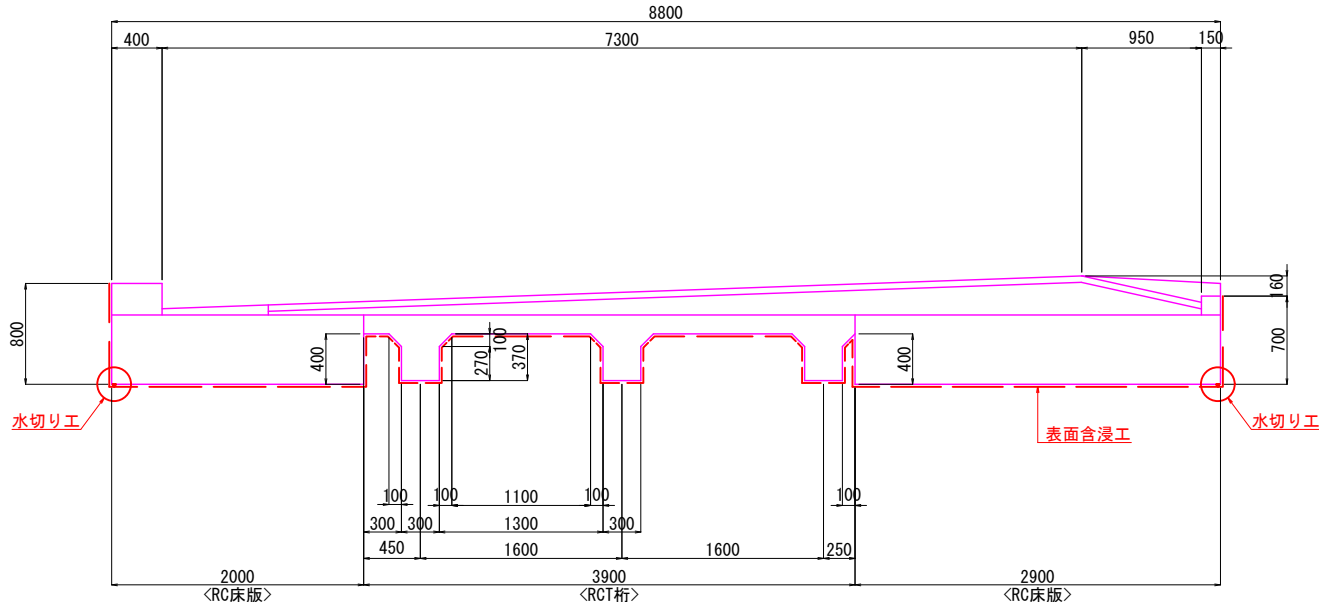
側面図



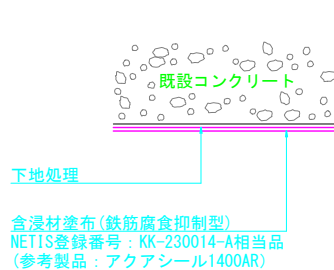
平面図



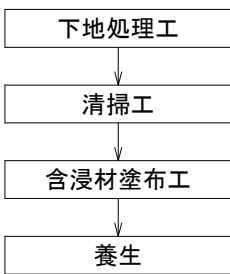
上部工断面図 S=1:30



コンクリート表面含浸工



施工フロー

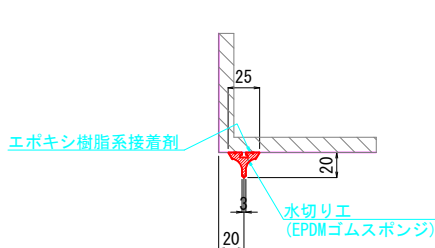


表面含浸材の要求性能

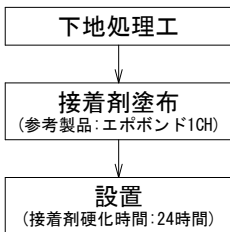
試験項目	シラン系表面含浸材 評価基準
外観	変化なし、わずかに変化、 著しい変化のいずれか
含浸性	—
透水抑制率	80%以上 (グレードA)
吸水抑制率	80%以上 (グレードA)
中性化抑制率	30%以上 (グレードA)
塩化物イオン浸透抑制率	80%以上 (グレードA)
透湿比	80%以上 (グレードA)

試験方法：表面含浸材の試験方法 (案) JSCE-K571-2005
基材：水セメント比 W/C=50%のモルタル
出典：土木学会、表面保護工法設計施工指針 (案) (2005. 4) より

水切り工詳細図



施工フロー



水切り工

名称	材質	寸法	左側	右側	合計	参考
水切り工	EPDMゴムスポンジ	W25×H20	5. 9m	5. 0m	10. 9m	80g/m

※NETIS登録番号: KK-180012-VE相当品 (参考製品名: ウォーターカッター)

注記

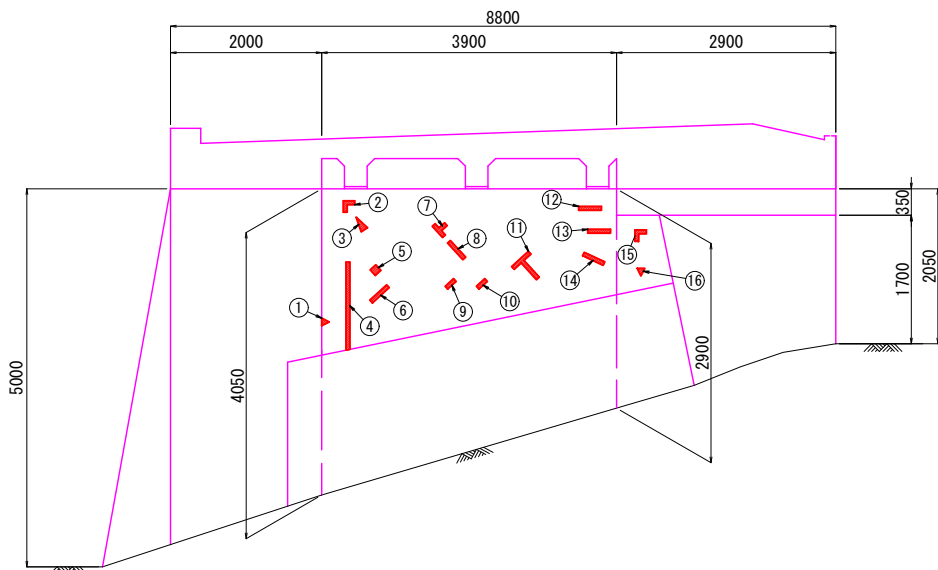
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【青木屋3号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	コンクリート表面保護工・水切り工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

橋台部モルタル充填工・根固め工図 S=1:50

A2橋台モルタル充填工図

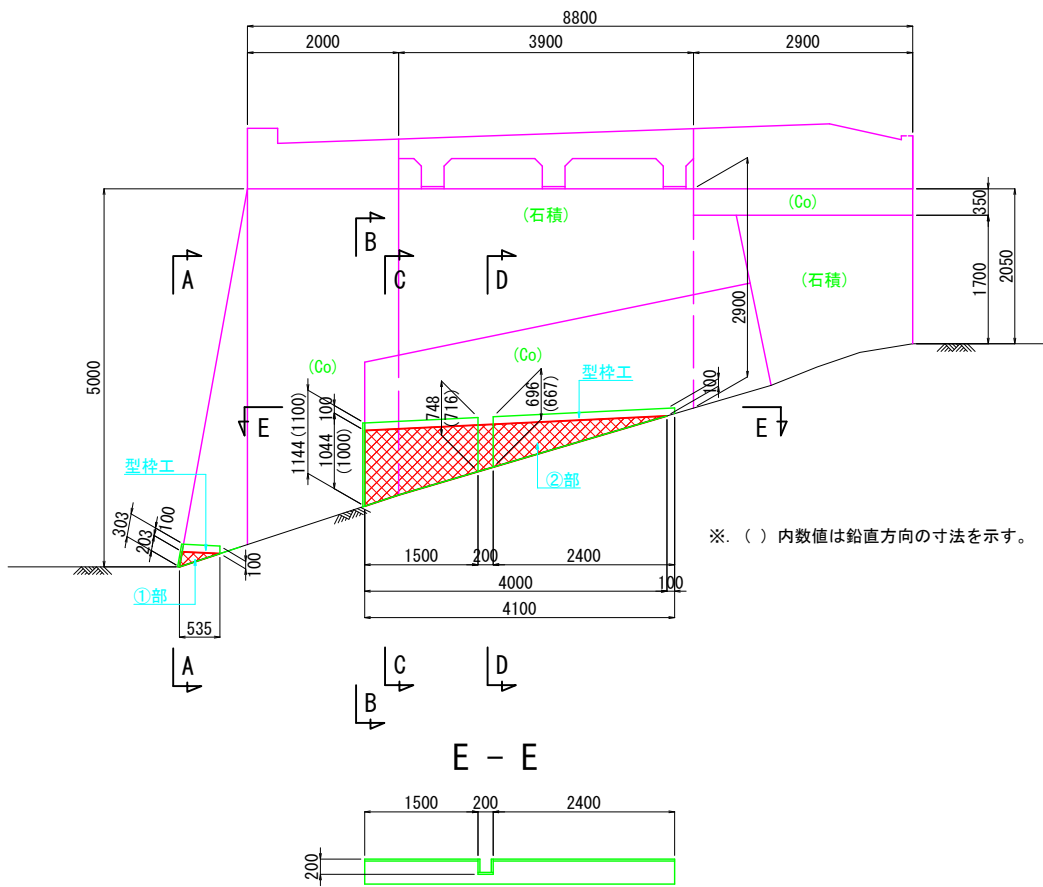


A2橋台モルタル充填工数量

部位	番号	幅 (mm)	長さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)	備考
A2橋台	①	0.10	0.10	0.005	0.001	面積1/2
	②	0.05	0.25	0.013	0.001	
	③	0.10	0.20	0.010	0.001	面積1/2
	④	0.05	1.15	0.058	0.006	
	⑤	0.10	0.10	0.010	0.001	
	⑥	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑦	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑧	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑨	0.05	0.15	0.008	0.001	
	⑩	0.05	0.15	0.008	0.001	
	⑪	0.05	0.60	0.030	0.003	
	⑫	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑬	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑭	0.05	0.30	0.015	0.002	
	⑮	0.05	0.25	0.013	0.001	
	⑯	0.10	0.10	0.005	0.001	面積1/2

※1. 充填深さは、t=0.10mで計画
※2. 使用材料は、普通モルタル(1:3)とする

A2橋台根固め工図



※. () 内数値は鉛直方向の寸法を示す。

型枠工面積 (A2橋台)

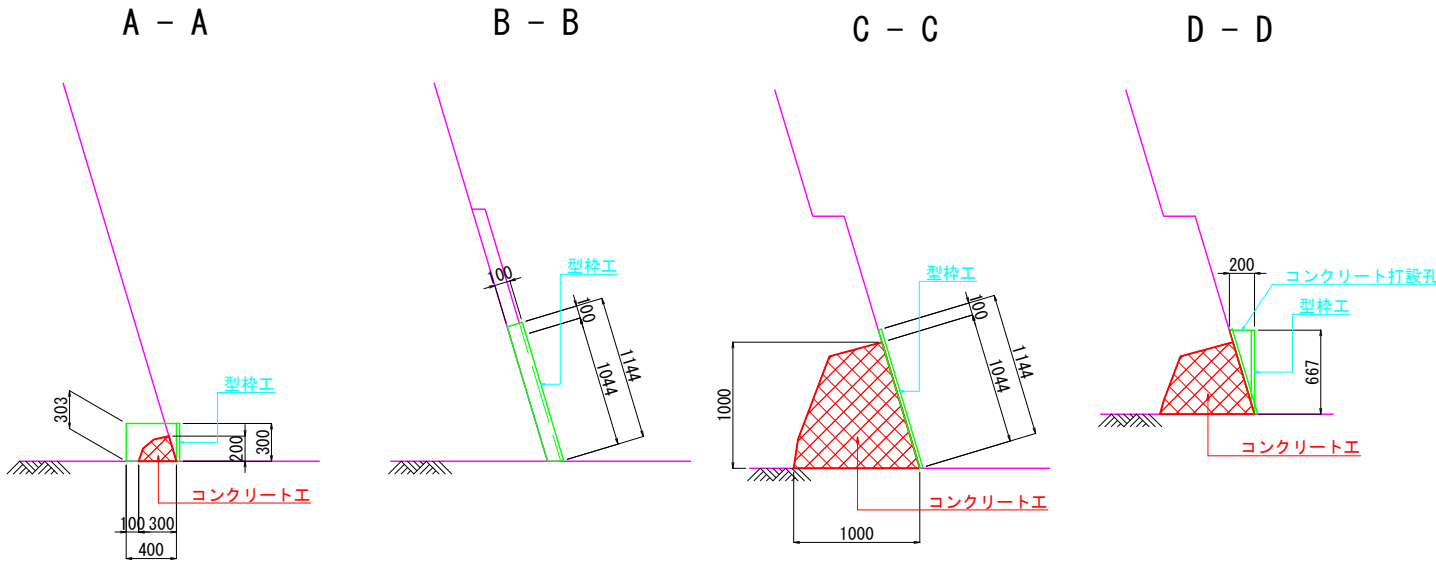
計算式	面積 (m2)	備考
$(0.300+0.100) \times 1/2 \times 0.535$	0.11	①部
0.400×0.303	0.12	
$(1.144+0.748) \times 1/2 \times 1.500$	1.42	②部
$(0.696+0.100) \times 1/2 \times 2.400$	0.96	
0.100×1.144	0.11	
0.200×0.667	0.13	
$0.200 \times 0.667 \times 1/2 \times 2$	0.13	
合 計	2.98	

コンクリート工 (A2橋台)

計算式	体積 (m3)	備考
$0.200 \times 0.535 \times 1/2 \times 0.300$	0.02	①部
$1.000 \times 4.000 \times 1/2 \times 1.000$	2.00	
$0.200 \times 0.667 \times 1/2 \times 0.200$	0.01	
合 計	2.03	

※. 使用材料は、24-12-25 とする。
上記は呼び強度とし、必要強度は $\sigma_{ck}=16N/mm^2$ 以上とする。
(一部水中での施工となるため、場所打ち杭の考え方に準拠)

断面図 S=1:30

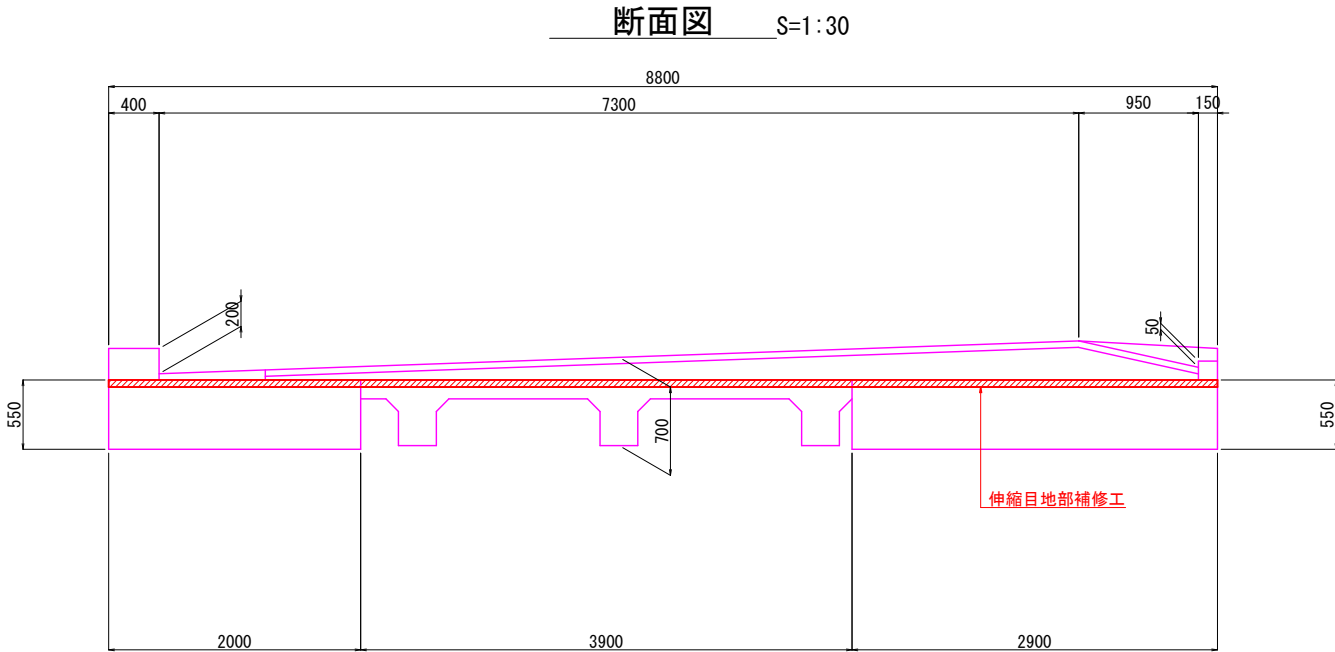
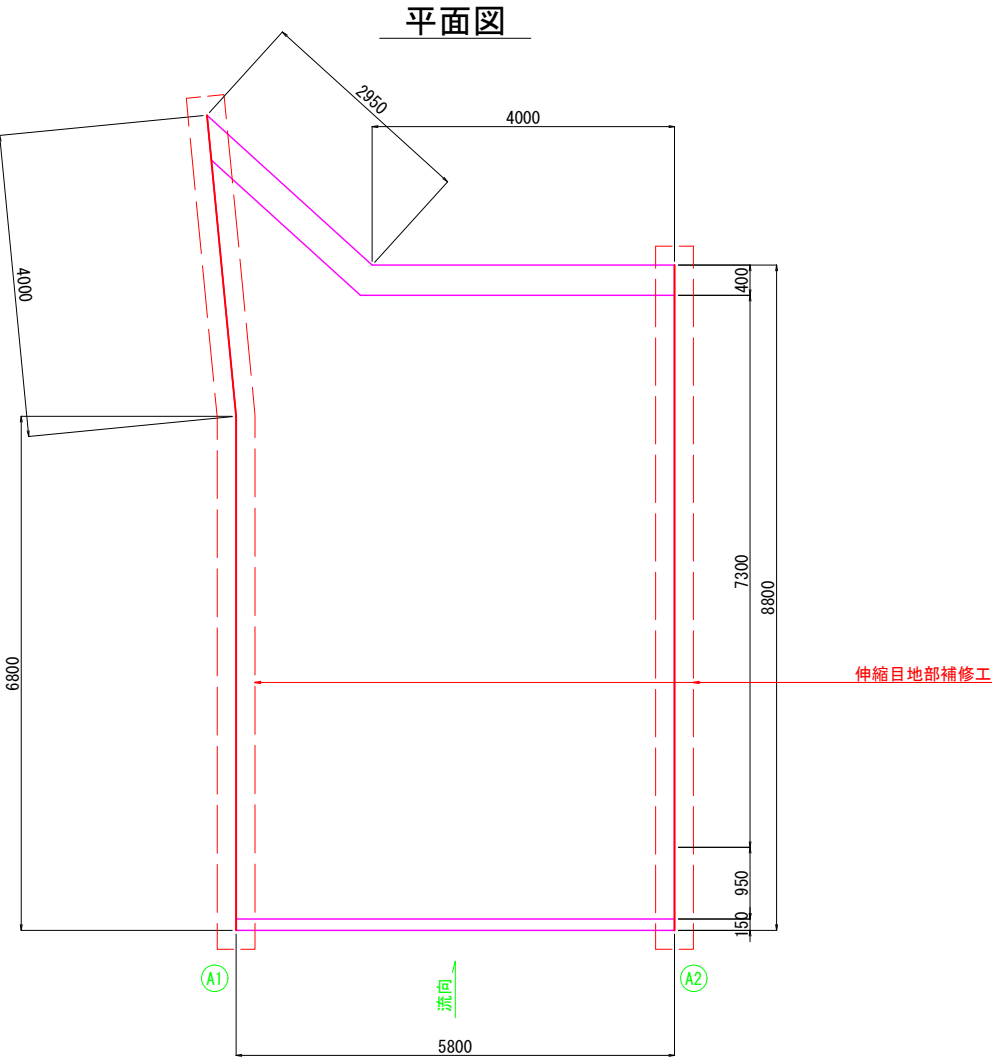


注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

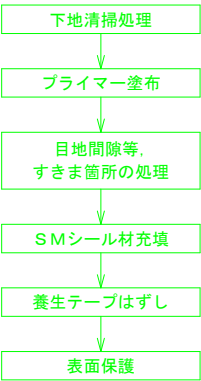
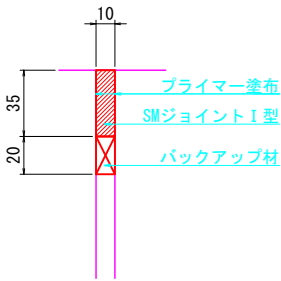
【青木屋3号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	橋台部モルタル充填工・根固め工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

伸縮目地部補修工図 S=1:50



伸縮目地部補修工 S=1:2



伸縮目地部補修工材料表 (施工幅10mm, 施工厚35mm)					
名 称	材 質	A1 (B=10)	A2 (B=10)	合計	備 考
伸縮目地材	SMシール材 (ポリブタジエン樹脂)	10.8 m	8.8 m	19.6 m	SMジョイントI型相当 ($\gamma=1.110$)
		4.2 ㏓	3.4 ㏓	7.6 ㏓	
プライマー	専用プライマー	113.4 m㏓	92.4 m㏓	205.8 m㏓	150 m㏓/㎡
バックアップ材	バックアップ材	10.8 m	8.8 m	19.6 m	

- 注記
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 - 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 - その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 - 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 - 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

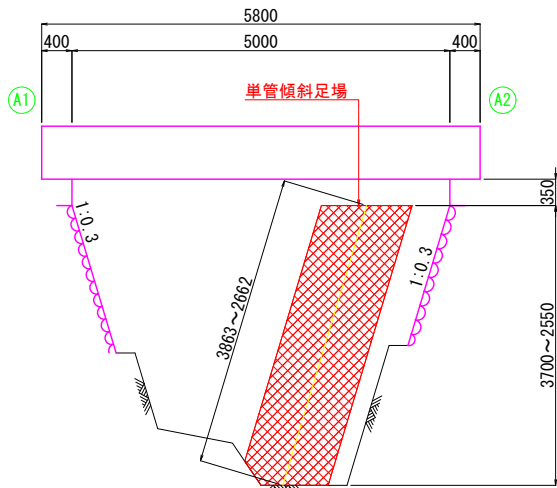
【青木屋3号橋】			
工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	伸縮目地部補修工図		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	7 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		

施工フロー

(参考) 施工要領図(その2) S=1:50

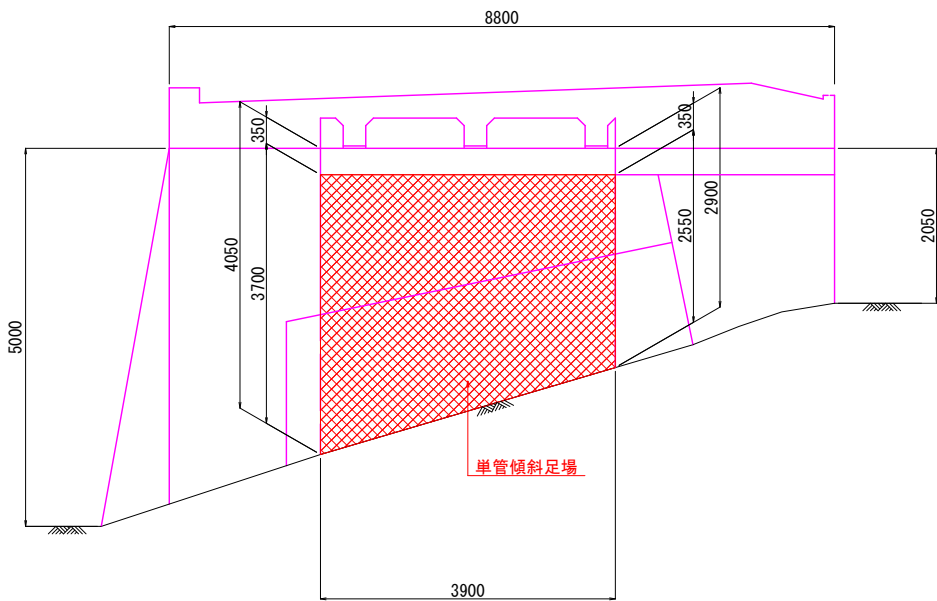
[モルタル充填工施工時]

側面図



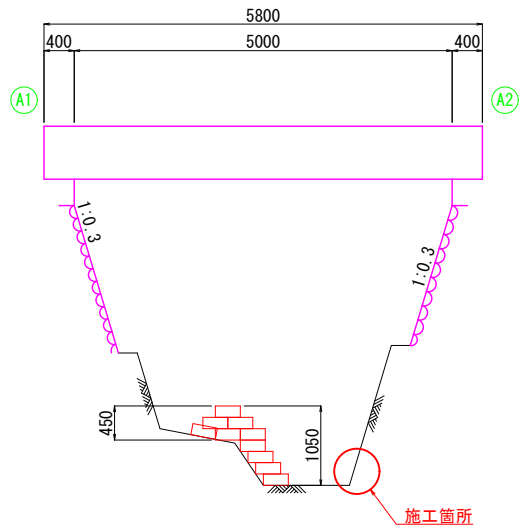
断面図

A2橋台

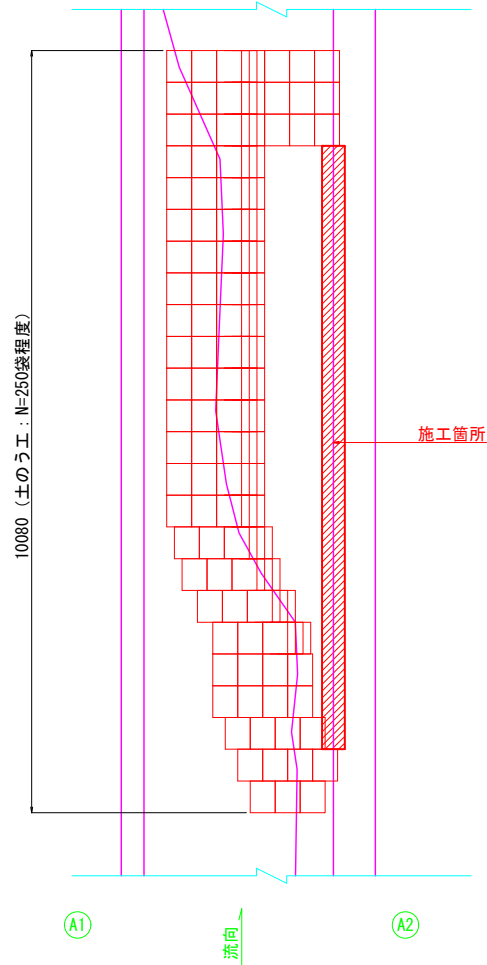


[根固め工施工時]

側面図



平面図



- 注記
1. 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造物の寸法や斜角を再確認すること。
 2. 補修部材は、実測確認後に製作すること。
 3. その他、現場条件により不具合がある場合は、協議の上、変更を行うこと。
 4. 施工にあたっては再度現地調査を行い、損傷箇所を確認の上実施すること。
 5. 再調査の結果、新たな損傷箇所が確認された場合は協議の上、対策を行うこと。

【青木屋3号橋】

工事名	令和6年度橋梁補修設計業務		
図面名	(参考) 施工要領図(その2)		
作成年月日	令和6年12月		
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 9
会社名	株式会社 パスコ		
事業者名	神石高原町 建設課		